

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。

最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。

(こちらに掲載している内容は、2025年6月現在の内容です)

## 家庭園芸用 GF オルトラン粒剤

有効成分：アセフェート…5.0%

農林水産省登録 第 21789 号

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	総使用回数※	使用方法
きく	ヨトウムシ類、ネキリムシ類、ハモグリバエ類	6g/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	株元散布
	アブラムシ類、アザミウマ類	3~6g/m <sup>2</sup>			
宿根スターチス	ヨトウムシ類、コガネムシ類幼虫	6g/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	株元散布
	ヨトウムシ類、コナガ	6g/m <sup>2</sup>			
カーネーション	アブラムシ類、アザミウマ類	3~6g/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	株元散布
	ヨトウムシ類、ネギコガ	6g/m <sup>2</sup>			
アリウム	アブラムシ類、アザミウマ類	3~6g/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	株元散布
	ヨトウムシ類	6g/m <sup>2</sup>			
花き類・観葉植物（きく、宿根スターチス、カーネーション、アリウムを除く）	アブラムシ類、アザミウマ類	3~6g/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	株元散布
	ヨトウムシ類	6g/m <sup>2</sup>			
芝	スジキリヨトウ、シバツトガ	10g/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	全面散布
	タマナヤガ	5~10g/m <sup>2</sup>			
きゅうり、なす	アブラムシ類、アザミウマ類、オンシツコナジラミ	3~6g/m <sup>2</sup>	定植時	1回	植溝散布又は植穴処理
	ネキリムシ類	(株あたり 1~2g)			
トマト	アブラムシ類、オンシツ		定植時	1回	植穴処理

	コナジラミ				は植穴処理
キャベツ	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	育苗期	本剤：1回 アセフェート：2回 以内(但し、定植時 までの処理は1回 以内、定植後の散 布は1回以内)	散布
	アザミウマ類	6g/m <sup>2</sup> (1株あ たり 2g)	定植時		植穴処理
	アブラムシ類、アオムシ、 コナガ、ヨトウムシ、ネキ リムシ類	3~6g/ m <sup>2</sup> (株 あ た り 1~2g)			
はくさい					
なばな類	アブラムシ類	6g/m <sup>2</sup>	は種時	1回	植溝土壤混 和
こまつな					播溝土壤混 和
オクラ		6g/m <sup>2</sup> (1株あ たり 2g)	は種前		
ブロッコリー	アオムシ、ヨトウムシ、ア ザミウマ類、ネキリムシ 類		収穫 14 日前 まで	定植時	株元散布
だいこん	アオムシ、コナガ、アブラ ムシ類	3~4g/m <sup>2</sup>	は種前		植溝散布
かぶ	アブラムシ類、ネキリム シ類	4g/m <sup>2</sup>	収穫 21 日前 まで		株元散布
ばれいしょ	アブラムシ類	3~6g/ m <sup>2</sup> (株 あ た り 1~2g)	植付時	本剤：1回 アセフェート：3回 以内 (但し、植付時の処 理は1回以内、植 付後は2回以内)	植溝散布
えだまめ	ハスモンヨトウ	3~6g/m <sup>2</sup>	収穫 21 日前 まで	3回以内	生育期株元 散布
つつじ類	ツツジグンバイ	12g/m <sup>2</sup>	発生初期	5回以内	株元散布
	ケムシ類		生育期 (樹 高 2m以下)		
樹木類 (つつじ類、ポ					

インセチアを除く)					
-----------	--	--	--	--	--

\*「なばな類（茎葉及び花蕾を収穫するもの）」には「太田かぶ」が含まれます。

●散布は一ヵ所に集中せず均一に散布してください。

●200g入ボトルは、容器を上下に軽く4～5回振りますと約1gの散布量になります。

登録内容変更についてのお願い（2014年9月11日付）

登録内容変更のご案内（2014年10月17日付）

登録内容変更についてのお知らせ（2014年11月17日付）

- 2025年6月25日付：ピーマンのアブラムシ類の削除
- 2023年8月23日付：かぶのネキリムシ類の追加
- 2022年10月12日付：ブロッコリー、トマト、きゅうり、なす、つつじ類、さくら（幼木）、さざんかの変更。オクラの追加。樹木類（つつじ類、ポインセチアを除く）の追加
- 2021年9月28日付：キャベツ、はくさい、ブロッコリーの変更、さざんかの追加
- 2020年10月14日付：なばなの変更、さくら（幼木）の追加
- 2019年11月20日付：こまつなの追加
- 2018年11月7日付：ブロッコリーの変更、つつじ類の追加
- 2017年9月13日付：キャベツのアザミウマ類の追加
- 2014年11月17日付：ミニトマト、はつかだいこんの削除。その他作物の変更
- 2008年5月14日付：キャベツ、なばなの変更
- 2007年4月11日付：なばなの追加

## ●効果・薬害等の注意

①土壤が極度に乾燥している時は使用しないでください（効果）。

②芝のスジキリヨトウ、シバツトガ及びタマナヤガの防除に使用する場合、散布後1m<sup>2</sup>当たり0.5～1.0Lの散水を行ってください（効果）。

③樹木類に使用する場合は、樹高2mを超えるような成木では効果が劣るので使用しないでください。

④適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤をはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店等と相談することが望ましいです。

## ●安全使用上の注意

①体調のすぐれない時は散布しないでください。

②眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください（刺激性）。

- ③散布中や散布当日は散布区域に小児やペットが立ち入らないように配慮してください。
  - ④使用後の空容器は3回以上洗浄してから【200g ボトル入】、空袋は良くたたいて中身を完全に出してから処理してください。
  - ⑤間引き菜、つまみ菜に使用しないでください。
  - ⑥みずかけな（水掛け菜）、カラー及び花はすぐに使用する場合は、ほ場内に水がない状態で使用してください。また、使用後14日間は入水しないでください。
  - ⑦ミツバチ及び蚕に影響がありますので注意して使用してください。
- 治療法：硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効です（動物実験で報告）。
- 魚毒性：通常の使用方法では問題ありません。

## 薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

### 薬剤の使用に関する注意事項